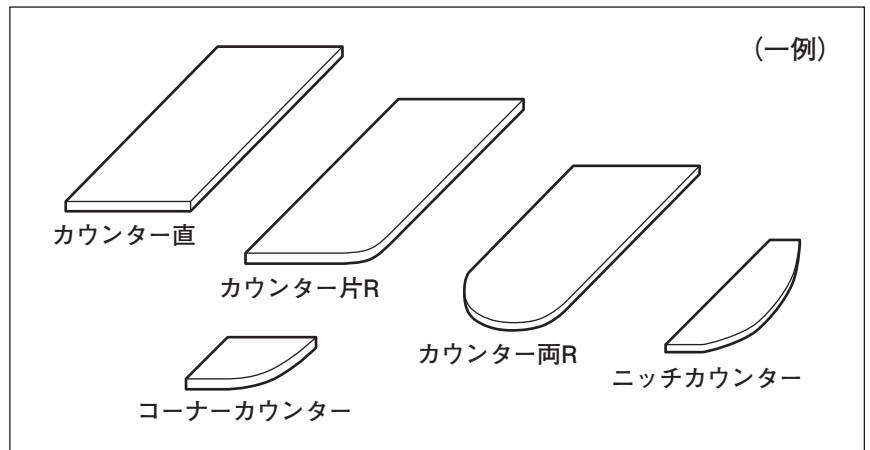
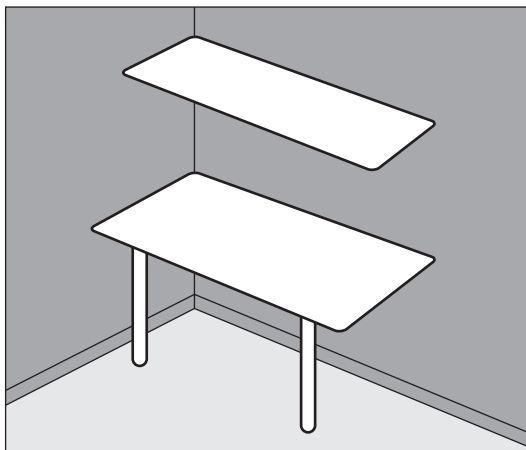


「施工業者様へのお願い」

- 弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡しいただきますようお願いいたします。
(取扱説明書は <https://www.daiken.jp/qr/manual/> よりダウンロード可能です)



施工説明書

施工業者様用

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

- 施工開始前に必ずお読みください。
- 施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

施工上のご注意

- ⚠ 輸送中発生したキズが有りましたら、運送業者から事故証明を取られて製品を添え、仕入先へお渡しください。(施工後の物につきましても、当社は責任を負いかねます。)
- ⚠ 開梱後はすみやかに施工してください。
- ⚠ 集成材カウンターの塗装品を現場で切断する場合は、膨れ、割れを防止するため、切断面(木口面、木端面)を必ず塗装してから取り付けてください。また、無塗装品を使用する場合は、反り、膨れ及び割れを防止するため、取付け前に必ず、裏面、木口面、木端面の塗装を行ってください。
- ⚠ 取付け位置には十分な下地を準備してください。十分な下地のない位置に施工されますと、脱落等によりケガをする恐れがあります。
- ⚠ 材割れを防ぐためにビス固定の際に、必ず下穴加工をしてから取付けてください。
- ⚠ カウンター取付け後、他の部分の施工が終わるまでキズ防止のため、養生シートやダンボールで化粧面を保護してください。
- ⊘ 水がかりとなる場所への施工は避けてください。
- ⊘ 出窓用カウンターとしての使用はできません。
- ⊘ コンクリート、モルタルなどへの直接の取付けは避けてください。やむをえない場合は、カウンター下に捨て張り板を取り付け、コンクリート等との間にすきまを設けて施工してください。
- ⊘ 木口面が塗装仕上げの場合、塗装面へ直接のテープ貼りはお避けください。テープ粘着力が強い場合、塗膜ハガレの恐れがあります。
- ⊘ ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

危険の定義とシンボルマーク

本施工説明書では「警告」「注意」を右のような定義で使用しています。



警告

誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの



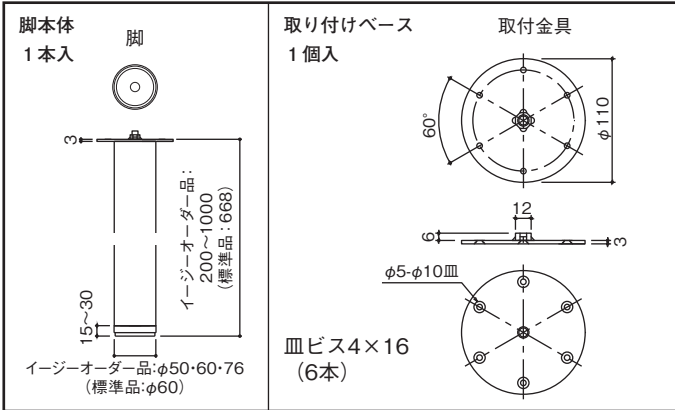
注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

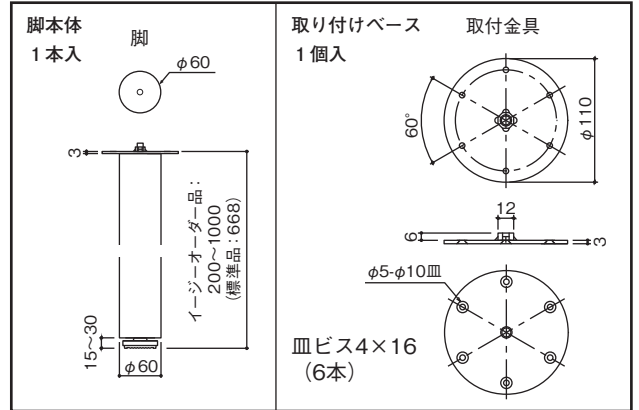
スチール丸脚・ゴム集成材丸脚・角脚の取り付け方法

部材・部品表

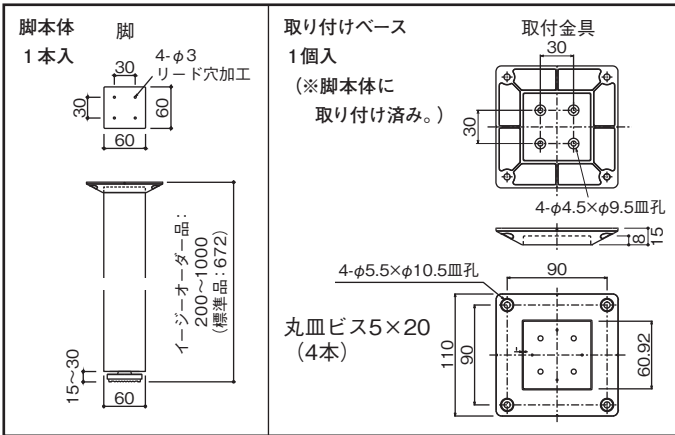
■スチール丸脚



■ゴム集成材丸脚



■ゴム集成材角脚



警告

- 脚を自立テーブルの脚としては施工しない
守らないと、強度が不十分となり、脚が外れて転倒し、けがをするおそれがあります。
- 脚を取り付けた後、側方からの衝撃など負担をかけない
守らないと、がたついたり、脚が外れて転倒し、けがをするおそれがあります。
- 脚の取り付け間隔を必ず守る
守らないと、がたついたり、脚が外れて転倒し、けがをするおそれがあります。

施工手順

1. 下穴をあける

カウンター裏面に脚固定用の下穴をあける。

- ❗丸脚を取付ける場合、カウンター裏面に座堀加工が必要です。(φ22mm、深さ15mm程度)

2. ビス固定

脚をカウンター裏面にビスで固定する。

※材割れを防ぐため、ビス固定する前に必ず下穴加工をしてください。



注意

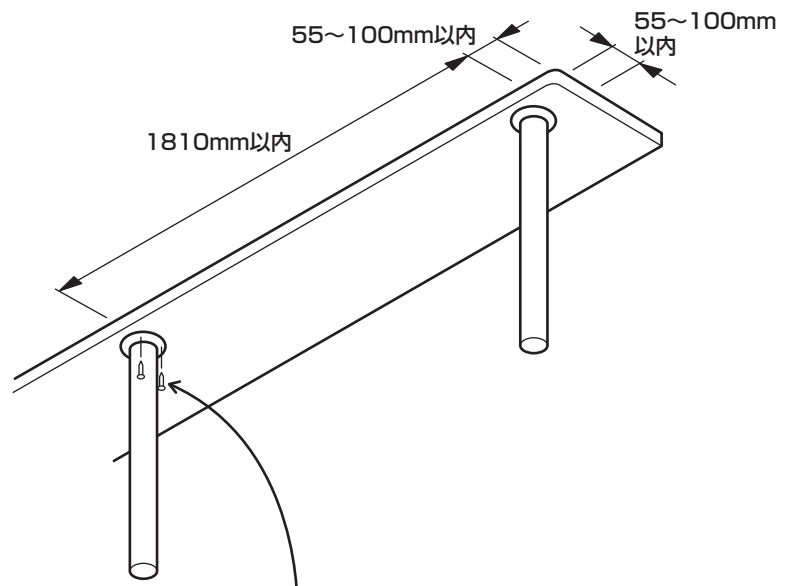
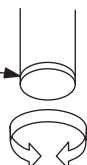
同梱のビスは必ずすべて使用してください。

3. 長さ調整

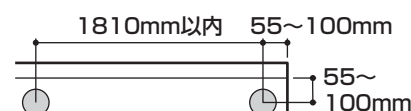
脚の長さを調整する。

脚の長さ調整

アジャスターを回す
約15mm調整可能



■平面図



■固定用ビス

6本/脚

丸脚

皿ビス4×16

4本/脚

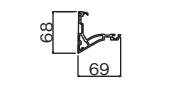
角脚

丸皿ビス5×20

壁付レールの取り付け方法 ※メラミンフリーエッジカウンターには対応していません。

部材・部品表

■カウンター用壁付レール(30mm厚用)

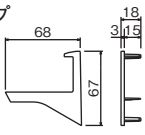
レール本体 1本入	ドリルビス 4×60(壁固定用) 4×19(カウンター固定用)
	
イージーオーダー品:270~4000 (標準品:1780,2980)	



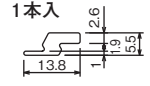
注意

奥行301mm以上のカウンターで設置する場合は、必ず脚を併用してください。

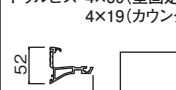
エンドキャップ
左右各1個入



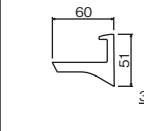
スペーサー
(本体取り付け済)
1本入



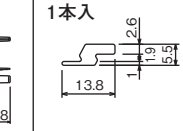
■飾り棚用壁付レール(21mm厚用)

レール本体 1本入	ドリルビス 4×60(壁固定用) 4×19(カウンター固定用)
	
イージーオーダー品:270~3000 (標準品:880,1780)	

エンドキャップ
左右各1個入



スペーサー
(本体取り付け済)
1本入



下地施工

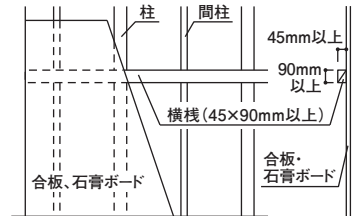
45×90mm以上の横桟を施工してください。



注意

・カウンター・飾り棚の荷重は壁で支えます。下地が充分でないと、落下・脱落等でケガをする恐れがあります。

・耐荷重は「カウンター用壁付レール」の場合は455mm間隔当たり20kg、「飾り棚用壁付レール」の場合は455mm間隔当たり15kgです。耐荷重以下のものであっても、薄型テレビ、鉄アレイ等の1点に集中して荷重のかかるものは載せないでください。



施工手順

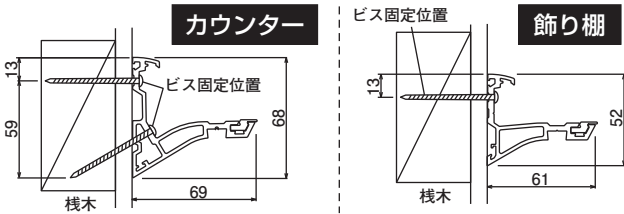
1. 墨出し

取り付け位置を決定し、墨出しを行ってください。



注意

下図ビス位置を参考のうえ、必ず下地にドリルビスが掛かるよう固定位置を決定してください。



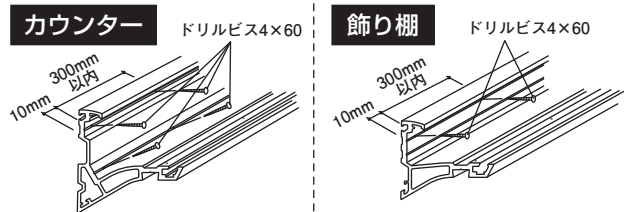
2. 壁付けレールの壁への取り付け

- 壁付けレール本体のビス固定位置を決定してください。
 - 端部ビス位置は、レール端部から10mmとしてください。
 - ビス固定位置は300mm以内で均等割りしてください。
- 墨出し線に合わせ、同梱のドリルビス(4×60)で、栈木(柱)の位置に確実に固定してください。

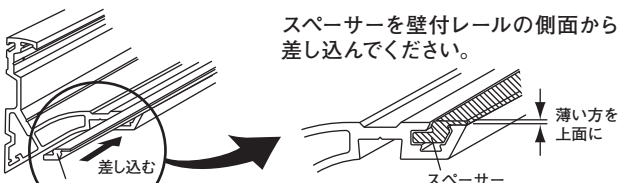


注意

同梱のビスは必ずすべて使用してください。

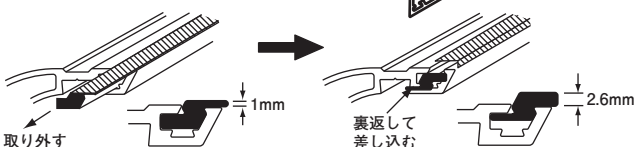


3. スペーサーの取り付け



スペーサーを壁付レールの側面から差し込んでください。

※カウンター・飾り棚のたれ下がりが大きい場合は、以下の方法で調整が可能です。



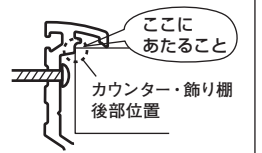
4. カウンター、飾り棚の取り付け

- カウンター・飾り棚を壁付けレールにはめ込んでください。



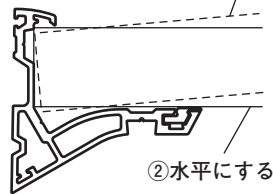
注意

カウンター・飾り棚は右図のように取りつけてください。



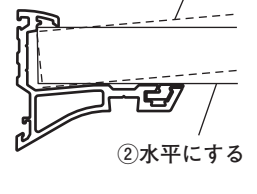
カウンター

- ①斜めに差し込む
- ②水平にする



飾り棚

- ①斜めに差し込む
- ②水平にする



- 同梱のドリルビス(4×19)でカウンター、飾り棚を固定してください。ビスは、端部より10mm、ピッチは300mm以内で取り付けてください。(詳細は2. 壁付けレールの取り付け参照)

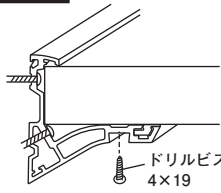


注意

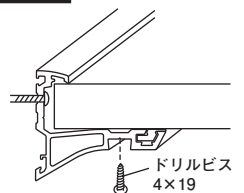
・カウンター・飾り棚は、レール両端から15mmの位置に施工してください。
 ・スペーサーはレール端部に合わせて施工してください。(下図④) スペーサーがレールより飛び出しますとエンドキャップが取り付けられなくなります。



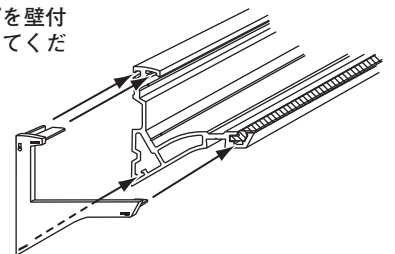
カウンター



飾り棚



- 同梱のエンドキャップを壁付レール両端に取り付けてください。



カウンター用L型ブラケット (ME6151, ME6152, ME6153)

施工上のご注意

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。
ほかの用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

- 施工開始前に必ずお読みください。
- 施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

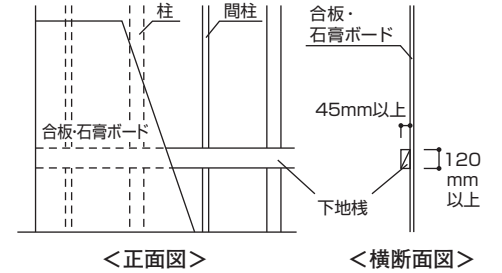
部材・部品表

商品に梱包されている部材・部品は下表の通りです。施工前に必ず梱包の内容をご確認ください。
単位はmm

部材・部品名称	サイズ	数量
(A) 本体	上図参照	1
(B) 壁固定ビス	トラス頭タッピングビス M5×40	6
(C) カウンター固定ビス	トラス頭タッピングビス M4×16	(小)(大):4、(特大):6

下地の施工

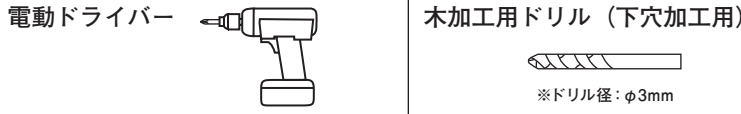
45×120mm以上の下地棧(現場手配)を施工してください。



注意
ブラケットの荷重は壁で支えます。下地が充分でないと、落下・脱落等でケガをする恐れがあります。

注意
耐荷重は455mm間隔当たり20kgです。20kg以下のものであっても薄型テレビ、鉄アレイ等の1点に集中して荷重のかかるものは載せないでください。

必要工具

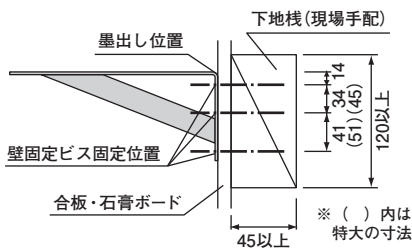


施工手順

1. 墨出し

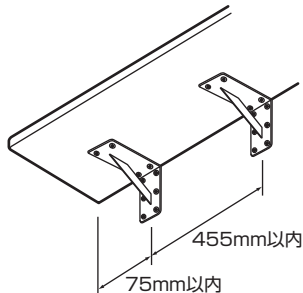
- ・カウンターの固定高さを決定し、墨出しを行ってください。
- ・ブラケット固定位置には、必ず45×120mm以上の下地棧(現場手配)を取り付けてください。

注意
右図のように壁固定ビス固定位置に下地棧があることを、必ず確認してください。

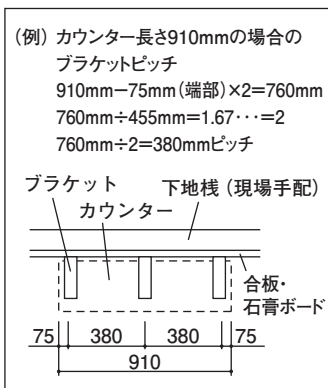


2. ブラケットの位置決め

- ・ブラケットの取り付け間隔は455mm以内で均等割りとしてください。
- ・カウンターの端部から75mm以内の位置にブラケットを固定してください。

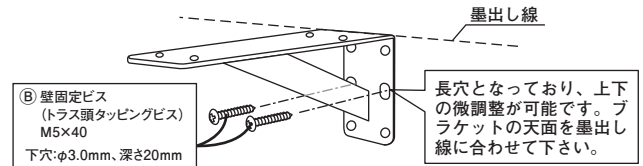


注意
ブラケットピッチは必ず455mm以内としてください。

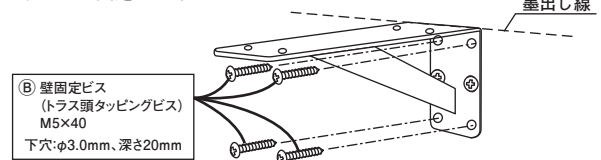


3. ブラケットの壁面への取り付け

- ①ブラケットの天面を墨出し線に合わせ、同梱の壁固定ビスをブラケット壁取付面の長穴のビス穴部(2箇所)に止めてください。

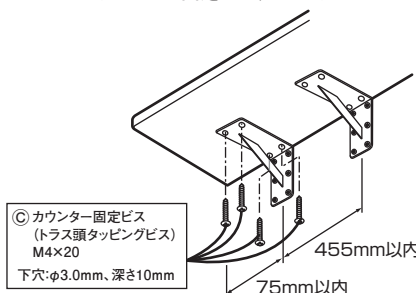


- ②同梱の壁固定ビスをブラケット壁取付面の残り4箇所(2箇所)のビス穴部分に止め、ブラケットを固定してください。



4. カウンターの取り付け

- ①カウンターをブラケットの天面に載せ、位置を決めてください。
- ②同梱のカウンター固定ビスをブラケット天面のビス穴部分(4箇所または6箇所)に止め、カウンターを固定してください。



注意
同梱のビスは必ずすべてのビス穴に確実に取り付けをしてください。取り付けが不十分な場合、脱落等によりケガをする恐れがあります。

飾り棚用ブラケット (ME2161) ※21mm厚用

施工上のご注意

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。
ほかの用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

- 施工開始前に必ずお読みください。
- 施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

部材・部品表

商品に梱包されている部材・部品は下表の通りです。施工前に必ず梱包の内容をご確認ください。
単位はmm

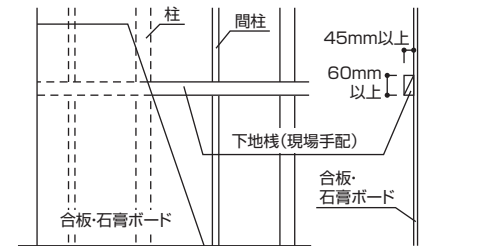
部材・部品名称	サイズ	数量	
① 本体	上図参照	1	
② カバー	上図参照	1	
③ 壁固定ビス	皿頭タッピングビス φ4×50	1	
④ 壁固定ビス	ナベ頭タッピングビス φ4×50	2	
⑤ 飾り棚固定ビス	ナベ頭タッピングビス φ4×20	2	
⑥ カバー取付ビス	皿頭小ビス φ3×4	1	

必要工具

	<p>※ドリル径：φ3mm</p>	
--	-------------------	--

下地の施工

45×60mm以上の下地材(現場手配)を施工してください。



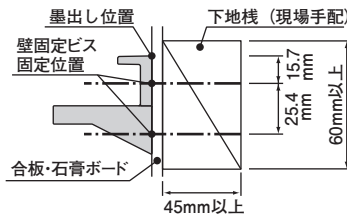
<正面図> <横断面図>

- | | | |
|--|-----------|---|
| | 注意 | 飾り棚の荷重は壁で支えます。下地が充分でないと、落下・脱落等でケガをする恐れがあります。 |
| | 注意 | 耐荷重は455mm間隔当たり15kgです。15kg以下のものであっても薄型テレビ、鉄アレイ等の1点に集中して荷重のかかるものは載せないでください。 |

施工手順

1. 墨出し

- ・飾り棚の固定高さを決定し、墨出しを行ってください。
- ・ブラケット固定位置には、必ず45×60mm以上の下地材(現場調達)を取り付けてください。

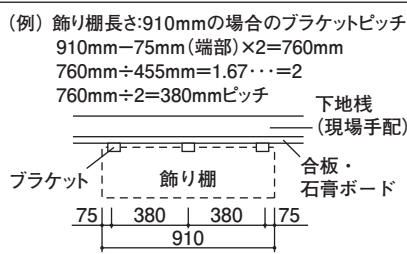
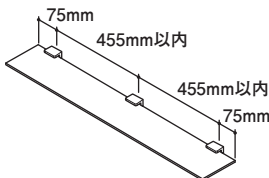


注意

右図のように壁固定ビス固定位置に下地材があることを必ず確認してください。

2. 飾り棚用ブラケットの位置決め

- ・ブラケットの取り付け間隔は455mm以内で均等割りとしてください。
- ・飾り棚の端部から75mm以内の位置にブラケットを固定してください。

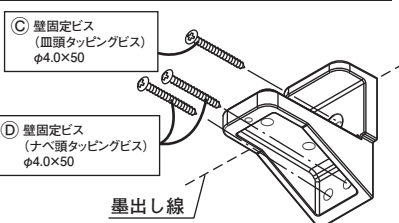


注意

ブラケットピッチは必ず455mm以内としてください。

3. 飾り棚用ブラケットの壁面への取り付け

- ①ブラケット本体を墨出し線に合わせ、φ3mmの木加工用ドリルで壁面側3箇所のビス穴部に深さ20mm程度の下穴をあけてください。
- ②同梱の壁固定ビスでブラケットを壁面に固定してください。

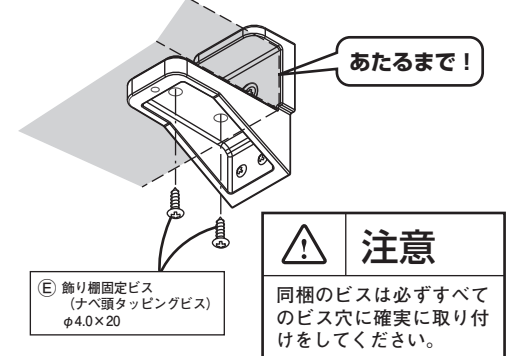


注意

同梱のビスは必ずすべてのビス穴に確実に取り付けをしてください。

4. 飾り棚の取り付け

- ①飾り棚を奥までしっかり差し込み、位置を決めてください。
- ②飾り棚の裏面に飾り棚固定ビスの下穴をあけてください。(φ3mmの木加工用ドリルで深さ10mm程度)
- ③同梱の飾り棚固定ビスで飾り棚をブラケット本体に固定してください。



注意

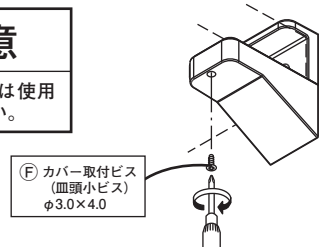
同梱のビスは必ずすべてのビス穴に確実に取り付けをしてください。

5. カバーの取り付け

- ①カバーをブラケット本体に差し込んでください。
- ②本体とカバーをカバー取付ビスで固定してください。

注意

電動ドライバーは使用しないでください。



使用上のご注意

- ⊖ 沸騰した鍋や油鍋、ヤカンを直接カウンターの上に置かないでください。また、カウンターの上には鉄アレイ等重量物は置かないでください。
- ⊖ 汚れは、中性洗剤を含ませた布を軽く絞った状態で拭き取り、その後、乾いた布にて水気を拭き取ってください。
- ⊖ カウンターをゆすったり、ぶらさがったり、踏み台やベンチとして使用しないでください。
- ⊖ 浴室やシャワールームなどの湿気の多い場所や屋外の設置はさけてください。
- ⚠ 専用施工部材をお使いいただいた場合、耐荷重は下記の通りです。
 - ・カウンター用壁付レール、カウンター用L型ブラケット：455mm間隔当たり20kg（均等荷重）
 - ・飾り棚用壁付レール、飾り棚用ブラケット：455mm間隔当たり15kg（均等荷重）
- ⚠ 薄型テレビ、鉄アレイ等の1点に集中して荷重のかかるものは載せないでください。

集成材カウンターの材質の特性について

- 木は湿気を吸収し、放出する機能を持っていますが、それに伴う伸縮により反り・割れ・かみ合部のすき間・波打ちが発生する場合があります。
- 木を有効に使うため、節・入皮・色ばらつきなどが表面に現れる場合があります。
- 木は日光により色調が経時変化します。長期間物を置いたままにすると部分的に色調に差が生じる場合があります。
- 木は適度な軟らかさがあります。硬いもので引っかけたり、ぶついたりすると、へこみや傷が発生します。
- 特に無塗装品は、木本来の材質感や肌触り感などを自然のままに表現していますので汚れが付着しやすくふき取りにくいという性質があります。

抗ウイルス機能について

- 「抗ウイルス機能」は感染予防を保証するものではありません。抗ウイルス効果は使用状況や使用方法により異なります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

カウンタートップ

■保証期間

製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後の修理については有料となります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ① 建物の設計・施工に起因する不具合
- ② 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③ 自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④ 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キンミ音などの不具合。

- ⑤ 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
 - ⑥ 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
 - ⑦ 入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
 - ⑧ 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
 - ⑨ 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
 - ⑩ 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
 - ⑪ 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合
 - ⑫ 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
 - ⑬ 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
 - ⑭ 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
 - ⑮ 離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
 - ⑯ その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合
- ※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから
<https://www.daiken.jp/qr/user/>



製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

構成部位	表面材料	発散区分	備考
天板	集成材(ゴム材)	規制対象外(F☆☆☆☆)	国土交通省 大臣認定：MFN-0135 (社)日本建材・住宅設備産業協会：K-002689
	高圧メラミンシート	規制対象外(F☆☆☆☆)	

お問い合わせ窓口について ●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター
0120-787-505
(フリーダイヤル)

● 受付時間…平日9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいております)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
 部品のネット販売サイトです。
 ※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社プライバシーポリシーに関しては、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。